

久光製薬は脱炭素社会の実現のため「日本製薬団体連合会の低炭素社会実行計画」に参画し、CO<sub>2</sub>排出量削減目標を2021年12月に見直しを行い2030年度までに2013年度比で46%削減、2050年度までに実質ゼロを目指す。

## <事業適応計画の概要>

### **1. 事業適応計画の実施期間**

2024年3月～2025年2月

### **2. 生産性向上目標・新需要開拓目標**

炭素生産性を10.39%以上向上させる。

### **3. 前向きな取組みの内容**

2024年3月に鳥栖研究所と筑波研究所を集約し、久光製薬株式会社 SAGAグローバルリサーチセンターを建設する。建設に伴い、以下の設備を導入する。

- ①空冷ヒートポンプチラー及びLPガスボイラーを熱源とした空調システム  
鳥栖研究所及び筑波研究所の空調エネルギー使用量合計と比較し、省エネとなり、エネルギーコスト及びCO<sub>2</sub>排出量を削減する。
- ②太陽光発電自家消費設備  
購入電力量が減少することにより、エネルギーコストを削減する。  
また、再生可能エネルギーであるためCO<sub>2</sub>排出量削減にも寄与。
- ③LED照明  
筑波研究所及び鳥栖研究所では蛍光灯を使用していたため、LED導入による省エネ効果によりエネルギーコストが削減、エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量削減にも寄与。

### **4. 支援措置**

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## <取組みの内容のイメージ>



※久光製薬株式会社 SAGAグローバルリサーチセンター 完成イメージ図